

2008 年度

科目名 国際文化交流	対象学科・学年 文学部文財1回生 薬学部薬学1回生	担当者 笠井 高芳
授業テーマ 国際文化交流の各論		
授業の概要と目標 現代の世界は、政治、経済、社会、文化など全ゆる分野で国際化が進んでいる。我が国の様々な文化交流の現状と問題点を明らかにし、国際理解と共生のあり方を学習する。		
評価方法 出席状況と学期末のレポートの内容により評価します。		
テキスト 適宜プリントを配布	著者	出版社
参考書 文明の衝突	著者 サミエル・ハンチントン 鈴木主税 訳	出版社 集英社
授業スケジュール・内容 1. 文化交流の意義 文化交流の歴史、定義、意義 2. 日本語の海外普及(1) 外国における日本語学習の現状、意義 3. 日本語の海外普及(2) 日本語の海外普及の課題 4. 海外における日本研究 諸外国の大学における日本に関する研究の現状 5. 外国人留学生の受入れ(1) 日本の留学生受け入れの現状 6. 外国人留学生の受入れ(2) 留学生の受入れの課題(予備教育、在日中、帰国後) 7. 日本人学生の海外留学 高校生、大学生、研究者等の海外留学の現状 8. 海外子女教育 海外に在住している日本人の子ども達の教育の状況 9. 外国人子女教育 日本国内に在住している外国人の子ども達の教育の問題 10. ユネスコと識字教育 読み、書き、計算のできない非識字者の問題 11. ユネスコと世界遺産 世界の文化遺産、自然遺産、無形文化遺産の保護 12. 学術交流 国際的な共同研究、学術調査、ビッグサイエンスなど 13. 地方・民間の国際文化交流 県や市町村、NGO などの国際文化交流 14. 芸術交流・スポーツ交流 美術、音楽、演劇、スポーツの国際交流 15. 文化交流の課題 文明の衝突、民族・宗教の争い、グローバリズムの進む中での文化交流の果たす役割と課題		